

問題1

Which is the best combination of paragraphs that describe the fundamental concepts of financial statements?

- a. Fair value is the price to sell an asset or transfer a liability, in an orderly transaction between market participants at the measurement date. Fair value is only determined by observing prices in an active market.
- b. The total carrying amount of equity generally equals the amount that could be raised by selling all of the entity's assets and settling all of its liabilities.
- c. Contributions from holders of equity claims are not income, and distributions to holders of equity claims are not expenses.
- d. Financial statements are normally prepared assuming that the company will continue as a going concern and operate for the foreseeable future. Therefore, it is assumed that the entity has neither the intention nor the need to enter liquidation or to cease trading.

1. ab

2. ac

3. ad

4. bc

5. bd

6. cd

問題 1

財務諸表の基礎概念について述べた最も適切な組合せはどれか？

- a. 公正価値（時価）とは、算定日において市場参加者間で秩序ある取引が行われると想定した場合の、当該取引における資産の売却によって受け取る価格又は負債の移転のために支払う価格をいう。公正価値は、活発な市場における価格を観察することによってのみ決定される。
- b. 純資産の貸借対照表価額の合計は、一般に、企業のすべての資産を売却し、すべての負債を決済することによって得られる金額（解散価値）と等しい。
- c. 持分請求権の保有者（株主等）からの出資は収益とはならず、持分請求権の保有者への分配は費用とはならない。
- d. 財務諸表は、通常、企業が継続企業として存続し、予測可能な将来の期間にわたって事業を継続するという仮定に基づいて作成される。したがって、企業は、清算に入る又は営業を停止する意図も必要性もないものと仮定される。

1. ab

2. ac

3. ad

4. bc

5. bd

6. cd

問題 1

正解

6

【出題内容】

財務会計の基礎概念・「企業会計原則」の一般原則等・金融商品会計

【解 説】

a. 誤 《A》理論②p. 17-32, 17-33, 「時価の算定に関する会計基準」5, 11参照。

活発な市場がない場合でも、他の評価技法を用いて公正価値（時価）を測定することとされている。したがって、「活発な市場における価格の観察によってのみ (only) 決定される」という部分が誤りといえる。

b. 誤 《A》理論①p. 2-4参照。

純資産の帳簿価額の合計は、一般に、企業のすべての資産を売却し、すべての負債を決済することによって得られる金額（解散価値）と等しくない。したがって、「純資産の帳簿価額の合計と解散価値とは等しい (equal)」という部分が誤りといえる。

c. 正 《A》理論①p. 3-4参照。

d. 正 《A》理論①p. 2-2参照。

以上より、正しい記述は「c と d」であり、正解は 6 となる。